

平成 27 年度の受賞団体

「みやぎ食育大賞」 山元町食生活改善推進員協議会

昭和 38 年の設立以降、地域での伝達講習会や料理教室を通して、町民の健康づくりや食生活改善活動に取り組んできました。

平成 16 年からは、行政や他団体と連携し、町内の全小学校において、郷土料理である「はらこめし」づくりの実習を行うなど、次世代への郷土料理の伝承と普及活動に力を入れています。

東日本大震災直後は、各避難所での炊き出し等に協力し、現在も震災の経験を生かして、常備菜を使った保存食やバッククッキングなどの体験・展示を行っています。また仮設住宅の集会所に向いて「簡単クッキング教室」を実施しており、調理指導や試食を通じ被災された方々と交流を図ることで、「食」に対する関心や調理意欲を取り戻すとともに、望ましい食習慣の定着を支援しています。



「みやぎ食育奨励賞」 みやぎの食を伝える会

宮城の伝統的な食文化について、講演・講話のほか、実習や体験活動を通じて、子どもから大人まで幅広い世代に伝承することにより、郷土食の保存のみならず、健全な心身を培う「食」の大切さを伝えています。

郷土食や地場産品の調査・資料収集を行っており、出版物として記録に残すことで、県の食文化や郷土食を後世へ伝える活動に取り組んでいます。

会員を対象とした郷土食づくりの技術、伝承方法を学ぶ研修等の実施により、伝承活動の担い手の育成にも力を入れています。



「みやぎ食育奨励賞」 沼辺笑楽寿来(ぬまべしょうがくじゆく)

平成 19 年から、村田町沼辺地区の住民で構成されているボランティア団体として、地区の子どもたちを対象に、行事食や農作業などの食に関わる文化を体験させることで、食文化や昔の生活等を伝える活動を行っています。

幼稚園や小学校と連携し、地域住民から積極的に子どもたちと交流を深めることで、地域で子どもたちを見守る意識の向上や、「地域の子どもたちは地域で育てる」環境づくりにつながっています。

